



# 地方公共団体金融機構について

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



**地方公共団体金融機構**

Japan Finance Organization for Municipalities

# 地方公共団体金融機構(JFM)の役割

地方公共団体金融機構(JFM)は  
地方金融機構債の発行により資本市場から資金を調達し  
地方公共団体に対し長期かつ低利の資金を融資する  
地方共同の資金調達機関

- **全ての地方公共団体が出資**

- 長い歴史を有する公営企業金融公庫の高い信用力  
及び 強固な財務基盤を承継

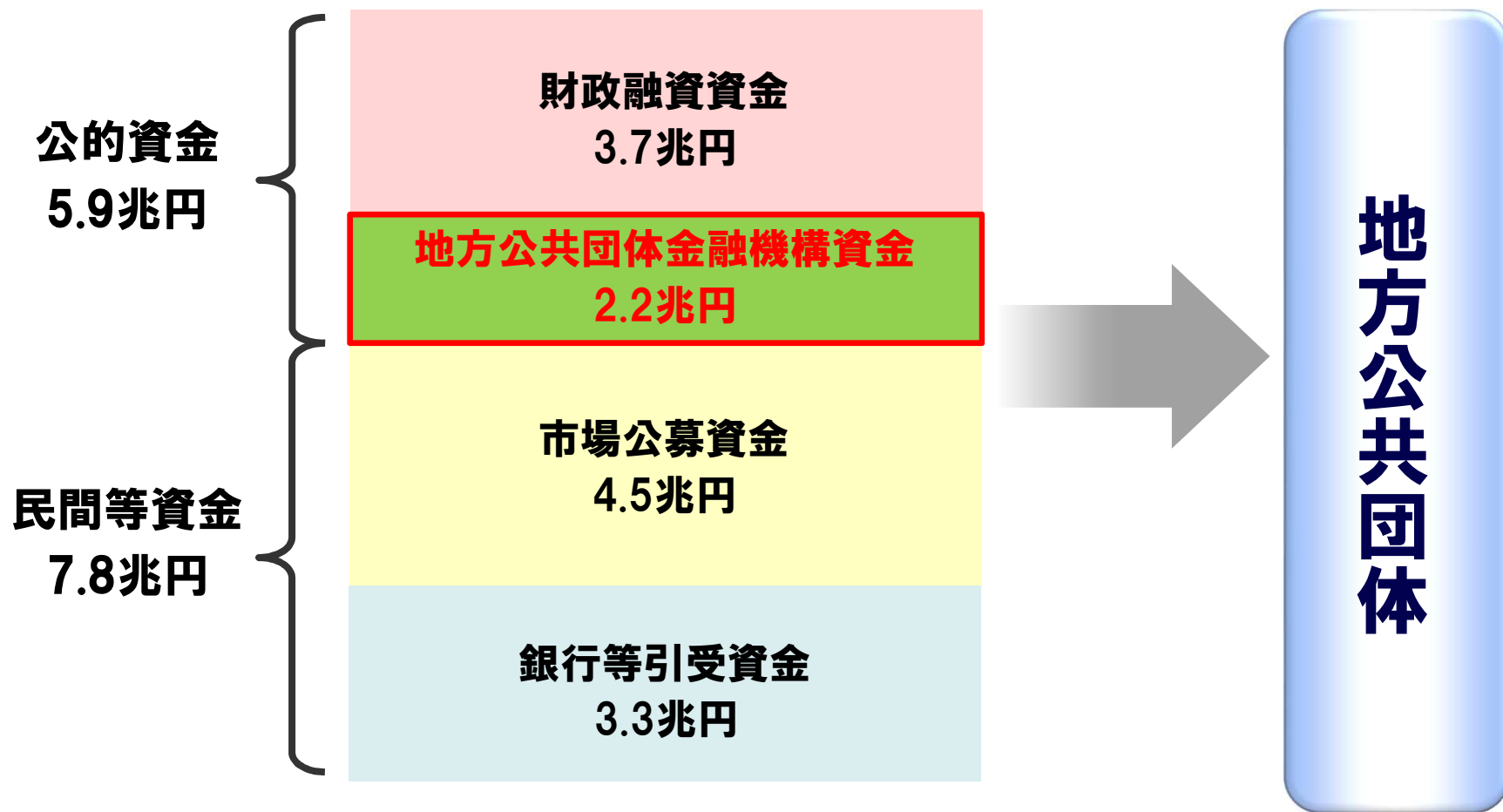
- **特別の法律に基づく公的機関(地方共同法人)**

- 地方公共団体金融機構法に基づき設立

# JFMの歴史

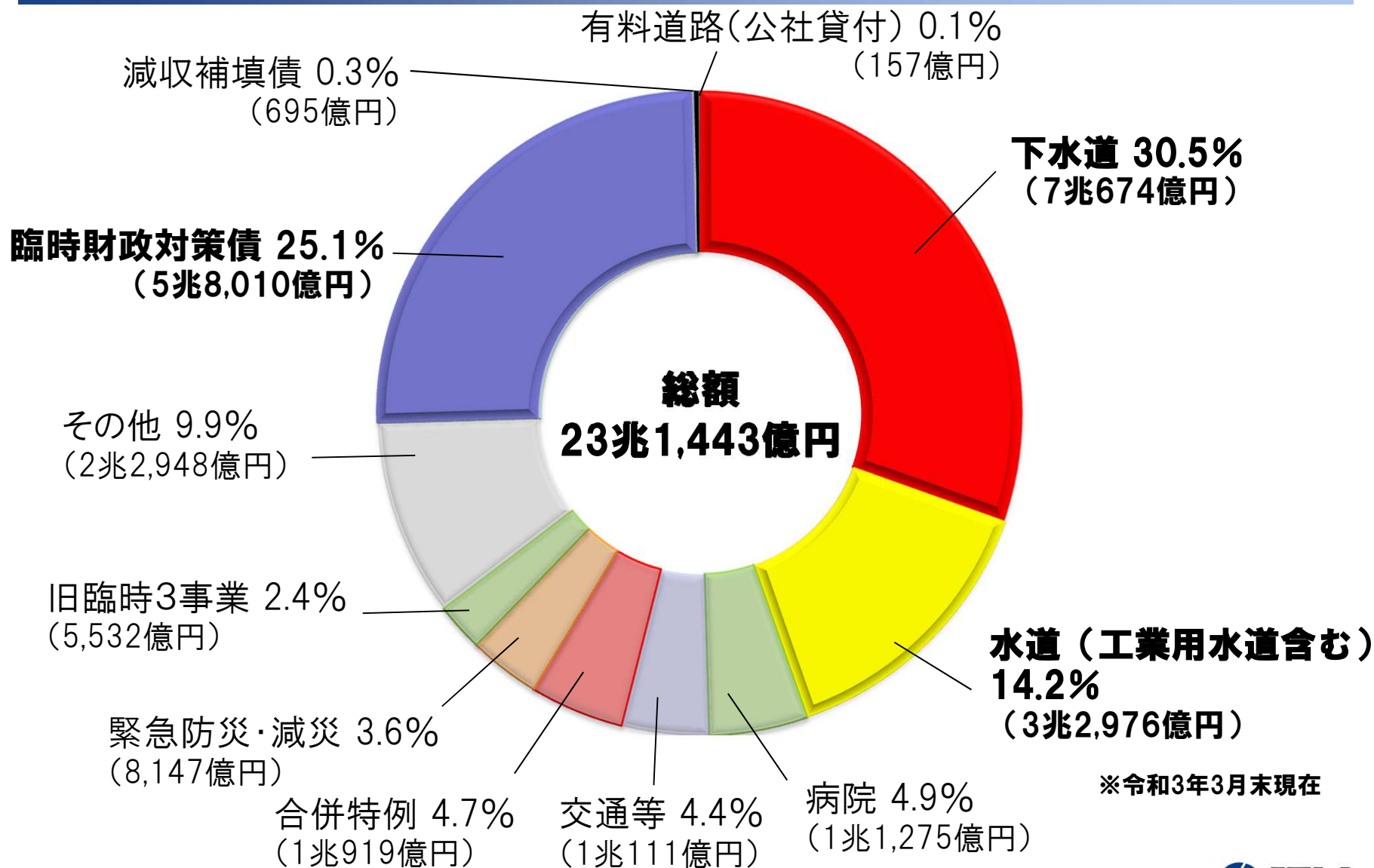
年. 月		出資者
1957. 6	<b>公営企業金融公庫 設立</b>	国
	↓	全ての権利・義務を承継
2008. 10	<b>地方公営企業等金融機構 業務開始</b>	全地方公共団体
	↓	貸付対象を一般会計事業にも拡大
2009. 6	<b>地方公共団体金融機構 に改組</b>	全地方公共団体

# 地方債計画と地方公共団体金融機構資金

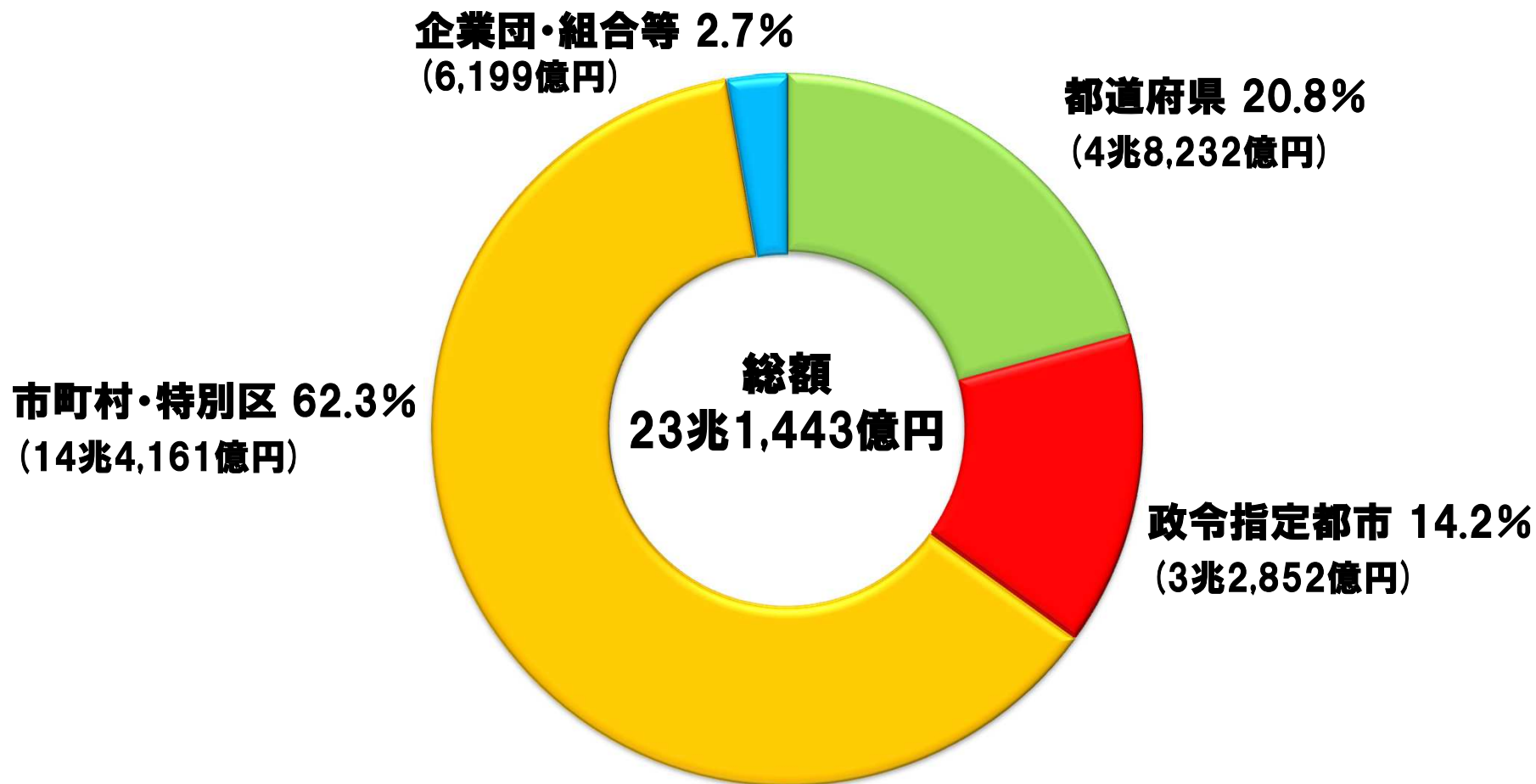


**地方債計画 13.6兆円**

# 事業別の貸付残高

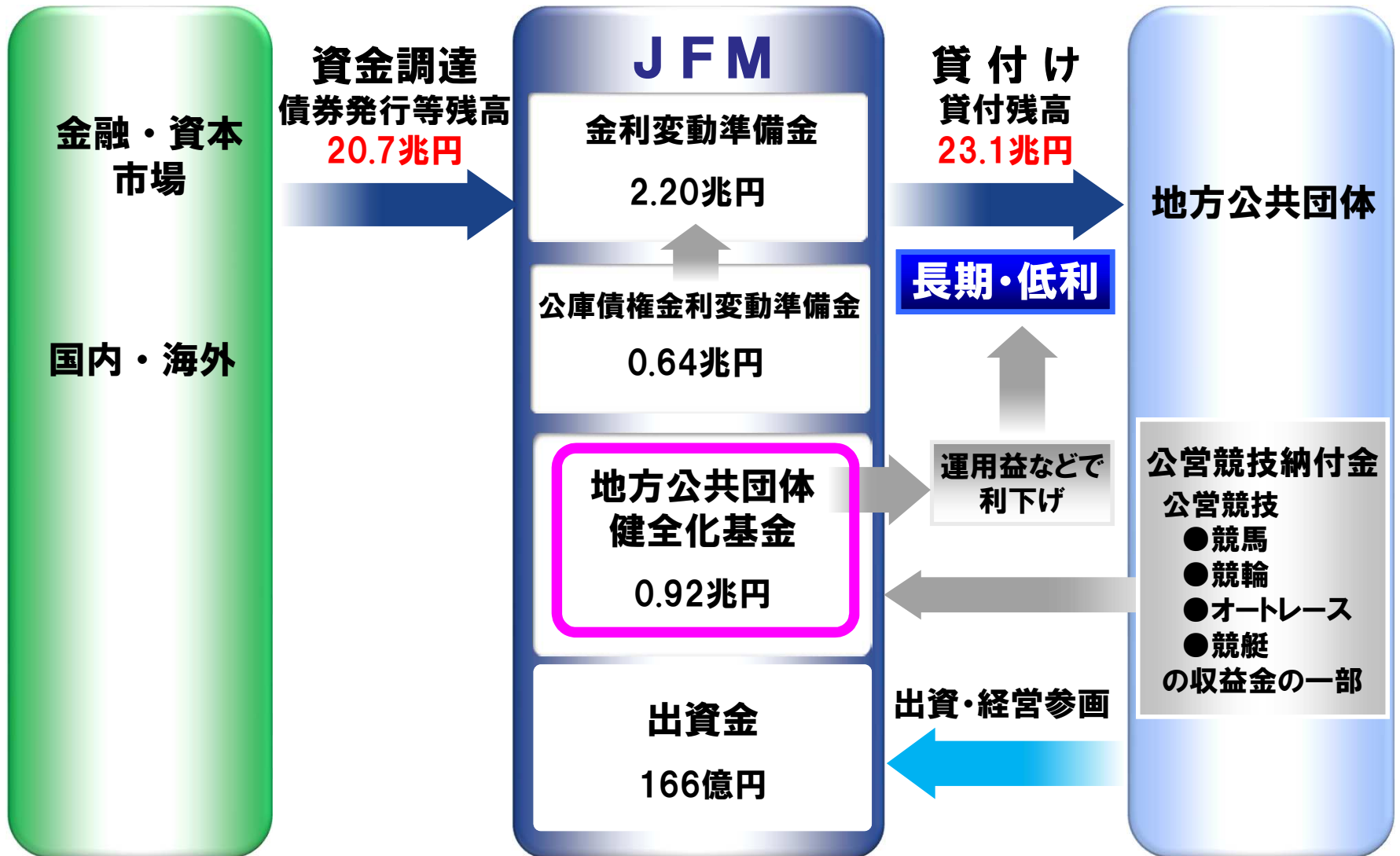


# 団体別の貸付残高



※令和3年3月末現在

# JFMの基本的な仕組み



# これまで貸倒れは1件もない

## 地方公共団体

●地方公共団体にのみ融資  
(これまで貸し倒れは1件もない)

→国又は都道府県に同意・許可  
された地方債のみに対して  
貸付け(機構法第28条)

返済

●地方公共団体の債務不履行が  
生じないような仕組み

→地方財政計画の歳出と歳入を均衡さ  
せることにより、マクロベースでの  
財源保障

→個々の地方公共団体の財源不足額に  
地方交付税を交付し、ミクロベース  
での財源保障

→「地方公共団体の財政の健全化に関す  
る法律」による、財政の早期健全化・再生

融資

JFM



# 強固な財務基盤、償還確実性の担保

市場

調達

- 非政府保証の地方金融機構債(一般担保付)を発行

- 強固な財務基盤
  - 金利変動準備金等 約2.8兆円
  - 地方公共団体健全化基金 約0.9兆円

- 償還確実性の担保
  - 機構解散時に、債務を完済できない場合は、全額を地方公共団体が負担する事が定められている(機構法第52条第1項)

償還

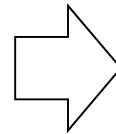
JFM

# 地方金融機構債の特色①

## 高い信用力

### 国債と同等の格付

- R&I : AA+
- S&P : A+
- Moody's : A1



国内の公共債発行機関では最高位の発行体格付

## 資産の安全性

### 地方公共団体のみに貸付け

- 機構法に、機構解散時に債務を完済できないときは、完済費用の全額を地方公共団体が負担する旨の規定

## 地方金融機構債の特色②

高い流動性  
多彩な商品性

国内最大級の発行体として多様な年限の債券を発行

- 5年債、10年債、20年債、30年債、FLIP債、スポット債、  
国外債を発行
- フレックス枠の活用により、各種機構債の増額や追加発行等、  
機動的に起債

時勢に即した  
条件決定

市場環境に即した利回りの設定

- 主幹事方式を基本とし、マーケット動向を踏まえた弾力的な  
起債運営

# 令和3年度資金調達計画

## 公募債

(億円 単位未満四捨五入)

債券の種類	令和3年度計画		備考	令和2年度 計画(当初)	令和2年度 実績
	上半期実績	下半期予定額			
国内債	7,700	5,320	3,430	7,400	12,585
10年債	2,800	2,000	1,500	2,600	3,850
20年債	1,100	750	500	1,100	1,900
5年債	200	200	100	200	300
30年債	200	200	100	200	450
スポット債	—	—	—	—	100
FLIP債	3,400	2,170	1,230	3,300	5,985
国外債	3,500	2,660	840	3,000	6,012
フレックス枠	2,750	—	1,610	2,000	—
合計	13,950	7,980	5,880	12,400	18,597

・10年債は、原則、10年国債入札の1週間後に条件決定する。

・フレックス枠については、各種国内債・国外債の増額、スポット債の発行、長期借入の増額等に活用。実績には、各種債券及び長期借入の額にフレックス枠充当分を含む。

※ 令和2年度計画は令和2年7月に15,400億円、令和3年2月に18,750億円に増額している。

# FLIP債 柔軟な起債運営の取組み

年限や発行額など投資家ニーズに柔軟かつ迅速に対応して起債する機構独自の仕組み

## 発行概要

令和3年度 下半期予定額	1,230億円	一回の発行額	30億円以上 (単独または複数の投資家による合計額)
債券の年限	投資家の指定する年限 (原則、5、10、20、30年を除く)		

※ JFMの資金需要により、募集を取り止める場合や、募集する金額に制限を設ける場合があります。

## 発行実績

区 分		令和元年度		令和2年度		令和3年度 (9月末)	
		回数	発行額計	回数	発行額計	回数	発行額計
年 限	2年～10年	24	2,710億円	41	3,525億円	20	1,690億円
	11年～20年	23	700億円	37	1,840億円	12	420億円
	21年～40年	10	320億円	16	620億円	2	60億円
合 計		57	3,730億円	94	5,985億円	34	2,170億円

# 外債発行計画と実績

■ 2021年度下半期予定額 840億円

■ 直近の発行実績

## <ベンチマーク債>

市場	通貨	発行額	年限	利率(%)	発行日	条件(bps)
ユーロ	ユーロ	10億 (1,293億円相当)	10年	0.100	2021.9.3	MS+18
グローバル	米ドル	12.5億 (1,366 億円相当)	5年	1.125	2021.4.20	MS+18
グローバル	米ドル	12.5億 (1,301億円相当)	10年	1.375	2021.2.10	MS+26
ユーロ	ユーロ	5億 (636億円相当)	7年	0.010	2021.2.2	MS+22

※

マーケットの状況に応じ、プライベート・プレイスメント債等も発行

※2021年2月発行のユーロ建て債券はグリーンボンドとして発行(2020年2月より発行)

キャピタル・アイ Awards “BEST DEALS OF 2019”  
グリーンボンドが外債部門 特別賞を受賞

# 地方支援業務

地方公共団体の健全な財政運営に寄与することを目指し、地方公共団体の良き相談相手として、地方の政策ニーズへ積極的に対応しています。

地方公共団体の政策ニーズを的確に把握し、これらに対応したサービスを積極的かつきめ細かに展開するとともに、各種の調査・研究を進め、情報発信を実施しています。

1 調査研究

2 人材育成・  
実務支援

3 情報発信

# 機構におけるSDGsに向けた取組

## ● 貸付事業を通じた持続可能な街づくりへの支援

### 下水道事業



### 交通事業



### 病院事業



### 教育・福祉施設等整備事業



### 緊急防災・減災事業





# お問い合わせ先



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

**地方公共団体金融機構**

Japan Finance Organization for Municipalities

## 資金部資金課

■住所：〒100-0012

東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館内

■電話：03-3539-2696

■FAX :03-3539-2615

■E-mail: shikinka@jfm.go.jp

■URL: <https://www.jfm.go.jp/>

(日比谷 市政会館)



# ご購入時等の留意事項

---

当機構の債券発行計画を含めた将来的な見通しは、現時点で当機構が得ている情報に基づくものであり、潜在的なリスクと不確実性を含んでいるため、マーケットの動向や経済状況、法令といった様々な要因により、将来の状況は今回ご説明した見通しとは異なる可能性があります。そのため、投資家の皆様におかれましては、慎重に判断し、リスク等に十分に留意した上でご購入等されることをお奨めいたします。